

令和2年度第16回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和3年3月4日(木)午後1時35分～午後3時42分
2. 会場 教育委員会 会議室
3. 出席者
- | | | | |
|-------|---------|---------|---------|
| 教育長 | 中 峰 寿 彰 | 生涯学習部長 | 鴻 野 弘 志 |
| 職務代理者 | 五十嵐 紀 子 | 合宿の里統括監 | 三 上 正 洋 |
| 委員 | 馬 場 千 晶 | 学校教育課長 | 須 藤 友 章 |
| 委員 | 加 藤 洋 之 | 社会教育課長 | 武 山 鉄 也 |
| 委員 | 山 田 敦 久 | | |

4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

○中峰教育長

本日は春の訪れを感じさせる好天となったが、2月15日から16日にかけては暴風雪警報が発令された。教育委員会では、旭川地方气象台などからの情報収集のもと、「小・中学校全校一斉臨時休業決定マニュアル」に則り、15日の段階で、翌16日の臨時休業を決定した。17日には天候が多少改善したものの、一部に除雪が間に合わない地域もあり、多寄小と温根別小は翌日も臨時休業した。また、土士別・中士別では雪による吹き溜まりで、児童・生徒が通学するバスなどに影響が出た。更に、今月2日には上川中南部に大雪警報が発令されたが、北部では注意報止まりで警報には至らないとの予報だったことから、全校一斉の臨時休業とはせず、各地域の状況に応じて各校が独自に休校の判断をすることとした。降雪量としてはそれほど多くなかったものの、風向きが普段と違っていたせいか局地的に吹き溜まりが発生し、中士別地区ではバスが走れない状況になってしまった。一部の家庭では保護者が児童生徒を送迎したが、学校を休まざるを得なくなった家庭もあった。改めて、学校・保護者・教育委員会・除雪事業者などによる連絡体制を構築しなければならない。大雪の影響で高校受験も順延になった。本日、翔雲高校では1日遅れで学力考査が行われている。東高校は9人が受験しており、近年は学校の現状に見合う受験者数で推移している。一方、翔雲高校は昨年の倍率が0.9から0.8に低下しており、翔雲高校の木幡校長からは「各中学校へ積極的にPRしたい」との申し出があったところ。名寄高校は名寄産業高校との統合を控えており、3年後に上川北部地区の高校配置計画が見直される際の判断材料になる。翔雲高校を核として連携する体制を作っていきたい。剣淵町や音威子府村でも地域活性化の観点から高校の振興策として「魅力化」に更に力を入れている。

本日もよろしく願います。

1 議事について

○中峰教育長 進行

議案第46号 令和2年度士別市教育委員会補正予算について説明を求める。

○鴻野部長

年度末を迎え、減額補正など通常の補正予算と、コロナウイルス関連の交付金に関わる補正予算がある。減額補正は100万円以上の不用額が生じる場合に行っている。内容は各担当から説明する。

(議案を基に各担当から説明)

○山田委員

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種スケジュールはどういう予定か。教職員等のPCR検査はどれくらいの頻度で行う予定か。

○中峰教育長

ワクチン接種スケジュールについては、国会でも正式に決定していないと答弁していたようだ。医療関係者や高齢者などが優先されることになっているが、アメリカのバイデン大統領は教育関係者にも優先的に接種すべきと発言している。

○須藤課長

月に一回検査することを想定している。

○中峰教育長

簡易的に行うPCR検査の結果は絶対的なものとは言えない。

○山田委員

よりどころとなるのはPCR検査とワクチン接種である。

○加藤委員

教室は30分に1回換気することが推奨されているが、どのくらい空気の流量が必要になるか具体的に数字で示されていない。ただ換気と言われても現実性に乏しい話だ。教職員にも負担がかかってしまう。

○中峰教育長

北海道大学の林教授に換気方法を問い合わせた。寒冷地では二段階換気が有効であり、昨年12月に改訂された「学校の新しい生活様式」にも記載されている。また、二酸化炭素チェッカーを購入し、活用している学校もある。市内の学校では、どの程度二段階換気を行っているか。

○須藤課長

学校の構造によっては二段階換気ができない場合もある。実施しているのは数校である。

○加藤委員

厚労省や国交省などが具体的な数値を示してくれるとよい。空気は滞留するものであり、入れないと出ていかない。

○中峰教育長

学校ではスクールサポートスタッフ等が中心となって、窓の開閉を行っている。

奨学金については、大きな動きがない状況であり、現在のところ2名程度から問い合わせがあった。情報共有が必要となる事案がある場合はお声がけいただきたい。

状況によっては追加で補正予算を要求することもあるかもしれない。

この件に関してはよろしいか。

(全員了承)

○中峰教育長

議案第47号 士別市文化振興補助金交付規則を廃止する規則について説明を求める。

○武山課長

文化振興補助金については平成10年から制度化され現在に至っているが、新年度から文化振興交流推進事業と統合され、企画課とともに主管することになる。補助内容などについて企画課と協議中であるが、現在、文化振興補助金を受けている場合は、新しい制度でも受けられる仕組みを考えている。社会教育委員の会議では、現行の制度には補助回数の制限がないことや、補助金の上限が20万円であることに対する意見が出ていた。これらの意見を踏まえ、補助回数に制限を設けるほか、補助金の上限額を30万円に引き上げることなど、実態に合わせることを想定している。なお、事業の主管は移っても、

利用者からの相談や受付業務については引き続き対応する。

○中峰教育長

これまでは似たような補助金があったため、この機会に整理しようというものである。

この件についてもよろしいか。

(全員了承)

○中峰教育長

議案第48号 修学旅行の引率業務等に従事する土別市立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する要領について説明を求める。

○須藤課長

修学旅行のように通常の勤務時間を超えて勤務しなければならない場合や、運動会・学芸会のように勤務時間を変更する必要がある場合には、教職員の勤務時間が週あたり平均38時間45分になるよう4週ごとに勤務時間を割り振らなければならない。対象となる業務は12項目あるが、北海道が定める要領に2項目追加されたため、本市の要領も同様に改正する。

○中峰教育長

この件についてもよろしいか。

(全員了承)

○中峰教育長

議案49号は秘密会とするので最後に説明する。

2 その他について

(1) 第1回定例会関係資料について

○鴻野部長

大綱質疑の通告があった議員11人中、教育委員会関係は4人の議員から質問があった。また、博物館のボイラーが故障し、できるだけ早い対応が必要となったため専決処分を行った。

○中峰教育長

児童・生徒が風邪症状で休んだ時に民間業者が実施しているPCR検査を行ってはどうかとの提言があった。最近の変異株の発生が徐々に増えている状況にあるが、児童・生徒はワクチン接種の対象になっておらず、ウイルスの感染率も低いとされている。簡易的な検査ではなく、状況に応じ必要な検査を行うべきとの考えから、現時点で市として実施する予定はないと答弁している。

○加藤委員

気持ちはわかるが、行政が行うべきものだろうか。検査を行うための明確な基準なども必要になる。

○中峰教育長

風邪症状などが見られる場合には、まずかかりつけの病院を受診するなどしてもらいたい。

(2) 入学式の日程について

○中峰教育長

入学式は卒業式と同じ形態で実施すると聞いている。各学校に再確認し割振りを行う。

(3) 当面する今後の日程について

鴻野部長説明

○武山課長

本市の地域学校協働活動が文部科学大臣表彰された。地域の活動一つ一つの積み重ねが評価されたものである。コミュニティスクールの活動は、それぞれ今月中に協議会を開催、もしくは書面会議で一年の総括を行い、4月から新たな体制で動き出すことになる。社会教育課の田中主事が社会教育主事講習を受講し、有資格者となった。今年度から同時に社会教育士の称号も与えられるが、まだ発令はされていない。

○三上統括監

前回の会議で詳細をお伝えしていなかったが、2月25日と26日の両日でオリンピック教室を開催した。例年であれば、オリンピックデーランの前後にオリンピック教室を開催していたが、本年は変更せざるを得なかった。25日は南中を会場に、エアリアルの逸見佳代さんを講師として、26日は土中を会場にバスケットボールの矢代直美さんを講師として迎え、運動と座学で授業を行った。今回はJOCではなく、北海道オールオリンピックズの協力によるもの。

令和3年度のイベント・大会の予定についてお知らせする。春のクロカンは中止とする。チャレンジデーは5月26日が本来の開催日となるが、この日は「おうちでチャレンジデー」のような形で開催し、10月27日に例年の対戦形式で開催する予定であり、昨年実現しなかったみよし市と対戦すべく調整している。7月4日はホクレンディスタンスチャレンジの第1戦、7月下旬はサマーコンバインド・サマージャンプ・Jrレディーズ大会などを実施する予定である。9月は4日に市民クロカン、26日には全道障がい者スポーツ大会を開催予定。

○須藤課長

GIGAスクール構想による一人一台端末は、昨年12月に無事納品され、年明けから教職員の研修がスタートしている。本市では最大5回の研修を予定しており、本日も第4回となるロイロノート研修を実施しているところである。

○中峰教育長

他の自治体ではここまでの研修を行っていない。先日、多寄小学校では児童が端末を使用して授業を行っていた。市内全校で効果的にICTを活用するため、数名でプロジェクトチームを立ち上げた。教職員の中には不得手な人もいるようだが、まずは使用することが大事である。

○五十嵐職務代理者

上小の参観日に参加した際、先生がスムーズに機器を操作できなかったことがあった。研修を受けた先生だったようで、研修講師から聞いた冗談を保護者に披露し場が和んだことがあった。

○加藤委員

研修を充実させていることは素晴らしい。全国的に臨時休業した際に全国的なICT整備の遅れに気づいたと思う。

○中峰教育長

インフラ整備が課題だったが、そこも整備される予定。

○山田委員

子どもたちは機器の導入を期待している。まず先生が学んで、しっかり指導してもらいたい。

○中峰教育長

士別小の武石教諭が上川管内教育実践表彰を、士別翔雲高校の板橋教諭が北海道教育実践表彰をそれぞれ受賞した。

○中峰教育長

議案49号 令和3年度士別市学校教職員の人事異動について説明する。

午後3時25分秘密会を宣する。

午後3時40分秘密会を解く
以上で会議を終了する。

午後3時42分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者 中峰寿彰

会議録調整者 須藤友章